



ワインセラー

# スタイルクレア

2013年に、冷却技術の専門企業「株式会社マックス」より「スタイルクレア」事業を業務移管したワインセラーメーカー。ワインセラーの販売・普及に取り組んでいる。低価格ながら高機能のワインセラーで、東京を中心に全国で導入店を増やしている。

## スタイリッシュであり高機能 セラー導入の障壁を破る新機種

ワインの普及と人気拡大により、和食店や居酒屋などのカジュアルな店でも、ワインを提供するケースが増えている。とはいえ、高価なワインセラーの導入に二の足を踏むという声もよく聞かれる。そのような状況を踏まえてこの9月、「スタイルクレア」に新商品が登場した。早くも注目を集めている「スタイルクレア SC-127」である。価格は抑えながら、多彩な機能を搭載しつつ、最大127本を収納する大容量を実現したこのセラー。黒とシルバーを基調としたスタイリッシュなデザインで、ファブリックやインテリア、

店内の雰囲気となじみやすいことも、導入店が広がっているポイントだ。また、幅が60センチ弱と省スペースに抑えられているため、飲食店だけでなく、一般家庭での購入も期待されている。発売後から早々に導入した、京都の「Wine Bar Yamawaki」のオーナー山脇敦司氏は、ワインの在庫本数の増加に伴い、2台めの大型ワインセラーとして購入を決めた。「小さな店ですので、省スペースでありながら収納本数が多いのが大きな魅力でした。駆動音も小さく、BGMを邪魔しないのもうれしいですね。何

より手ごころな価格が、購入への後押しをしてくれました」と言う。全体的に落ち着いた雰囲気の内装とともマッチし、ガラス扉からもれるLED庫内灯の光が、抑えた照明の中でワインを引き立てる演出にもひと役買っている。「庫内温度は5〜20℃で設定でき、電子パネルで温度を視認しやすいのも使い勝手の良さ」と山脇氏。セラーの台数を増やしたことで、白と泡で1台、赤で1台と使い分け、それぞれに適した温度を設定しているという。夏場の日中など、部屋内温度が高くなりがちな時間帯でも庫内温度が安定しているため、安心してワインを保管できると語る。



ワインが見えるガラス扉で、店内での演出にも一役買う。ボトルが取り出しやすいスライドレール付きの木棚も利便性が高い



オーナーの山脇敦司氏

ワインセラーがあることで、ワインがより売りやすくなることは事実。高機能かつ低価格のスタイルクレアの登場により、本腰を入れてワインセラーの導入、そしてワインの販売を考える店舗がますます増えそうだ。



### 「スタイルクレア SC-127」

都市型のスタイリッシュなデザインに、多彩な機能を搭載しつつ、価格とのベストバランスを実現した1台。W595 × D708 × H1430mm、127本収納、スライド棚10枚、ガラス二重扉。設定可能温度5〜20℃。コンプレッサー方式。オープン価格

### 「スタイルクレア SC52」

奥行き570ミリのコンパクト設計ながら電子タッチパネルなど操作性に優れたセラー。W513 × D570 × H1261mm、52本収納、木製棚10枚、ガラス二重扉。設定可能温度5〜20℃。コンプレッサー方式。オープン価格

### Wine Bar Yamawaki

フランス産を中心に、白赤泡のグラスワイン15種ほどを800円〜、ボトルワインは1万円前後が中心となる品ぞろえ。フレンチをベースにしたおつまみが充実。

住所：京都府京都市東山区八坂新地清本町 374-12-1 豆六ビル 5F  
TEL：075-533-9215  
営業時間：19:00〜翌3:00(翌2:30LO)  
定休日：日  
店舗規模：12坪  
席数：カウンター6席、テーブル10席  
<http://winebar-yamawaki.com/>

問い合わせ先：株式会社スタイルクレア TEL.03-5408-5508 <http://www.stylecrea.com>

